

ヤマトと小林工業が業務提携

技術・ノウハウを共有活用

多様な顧客ニーズに応える体制実現

ヤマト(前橋市古市町、町田豊社長)と小林工業(前橋市表町、小林要一社長)は、互いの経営資源を共有する業務・資本提携を18年12月7日に締結した。同提携はヤマトと小林工業がそれぞれ保有する技術、ノウハウ、データベース、サプライヤーを共有活用することで、品質保証、最適納期、コストの合理化を図るもの。これにより設計・施工・資産管理をワンストップで購入可能なものとして、購入者への付加価値を高めたいとしている。

具体的にはヤマトと小林工業が、技術とものづくりで互いに協力し、目指すべき建設産業のバリユーチエーンを共同で構築することで、顧客の期待(最適な品質、適切なコスト、適時の納期)に

応える。また、新しいビジネスモデルDBO(設計施工一括方式)を基本とし、事業活動の現場を、ヤマトと小林工業が単独または企業体として実践することで、さまざまな顧客要求に応えられる体制を実現するとい

う。ほかに、両者の資材の調達やサプライヤー情報の共有、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)Ⅱ注目ワードⅡの共同開発、特許技術の相互提供などによる生産性向上の迅速化などを挙げている。(山田誠一)